

共通語彙基盤

施設
情報交換パッケージ (IEP)
v1.0

平成27年2月3日

目 次

1. 本 IEP の目的	1
2. データ項目	3
3. IEP 活用の流れ	12
3. 1 新規システム構築の場合	12
3. 2 既存システムの場合	13
4. コード等	14
4. 1 コード、データ	14
4. 2 地図記号、ピクトグラム	19
4. 3 グローバル対応	19
5. 施設拡張	20
5. 1 子育て施設	20
5. 2 高齢者支援施設	21
6. サンプル	23

図 表 目 次

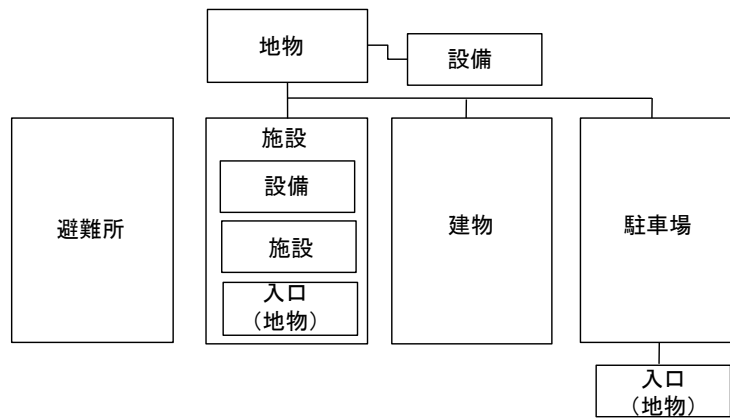
図 1 施設関連のデータ項目	1
図 2 IEP を介したデータの連係	2
図 3 主なデータ項目	3
図 4 詳細データ項目	10
図 5 英語対応、schema.org 対応	11
図 6 新規システムでの導入イメージ	12
図 7 既存システムでの導入イメージ	13
図 8 施設（子育て施設） 利用時データ項目	21
図 9 施設（高齢者支援施設） 利用時データ項目	22
図 10 サンプル	24

1. 本 IEP の目的

施設とは、特定目的のための建物等である。部屋等、特定目的を持つ建物内のエリアを示す場合もある。

日常的な生活や業務の中で、行政機関、商業施設等、施設の記述が求められることが多い。しかし、目的によって施設の記述方法が様々であるために、複数の地図上のデータを組み合わせて活用しようとする変換が必要な場合が多く、観光、防災情報等の基本的な情報の広域での交換などが十分にできていない。

そこで、施設情報を交換する時の共通的な交換方法が必要となる。施設は、特定地点に設置されているものなので、地物情報の情報交換パッケージを拡張して整備している。また、施設は建物情報を持つ場合もあり、その場合には建物情報も拡張できる等、様々な情報交換パッケージの組み合わせで複合的な施設も表現することが可能である。



上記の情報から必要に応じて取捨選択して目的地を表す。
必要に応じて、更に語彙を追加することも可能

図 1 施設関連のデータ項目

既存のシステムのデータ構造を変更する必要はなく、相手先にあわせてデータ変換する時に参照すべきデータ一覧となる。

本 IEP (Information Exchange Package:情報交換パッケージ) は、施設の情報を公開、交換、管理するために整備されたものである。実装に当たっては、共通語彙基盤の語彙セットを本 IEP と合わせて参照されたい。

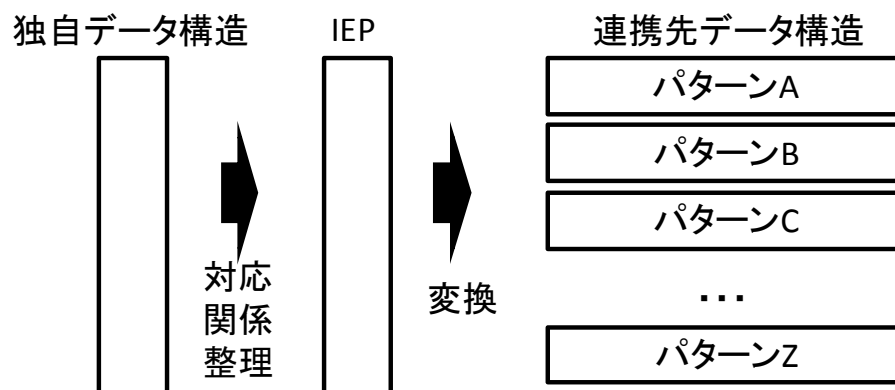


図 2 IEP を介したデータの連係

IEP 活用のメリット

- ・組織内外の多くのシステムと情報交換がしやすくなる
(調整やインターフェース改造が不要)
- ・情報項目に定義があるので、誰が見ても誤解なく情報が活用できる
- ・新規システム開発では、データ設計が標準的なデータでできる

2. データ項目

データ項目と記述イメージは、以下の通りである。灰色項目はその下に記述された項目を組み合わせることで、アプリケーションで自動生成できる項目である。ただし、構造化した住所等を使用しないで、直接記入することも可能である。

データ項目名	説明	備考
名称	地物の正式名称を記載する。	
通称	地物が通称を持つ場合に記載する。	
住所表記	都道府県、市区町村、町名を連続して記載。その後、丁目、番地、号をハイフンで接続して半角で記載。「東京都千代田区霞が関 1-3-1」	連絡先詳細項目を登録することで、自動生成する。 住所のデータ構造の詳細は住所 IEP を参照
郵便番号	郵便番号を半角、ハイフンなし、連番で記載。	
要約	一覧などに載せる簡易な説明を 100 文字以内で記載する。	
説明	地物に説明がある場合には記載する。	
アクセス	地物までのアクセス経路を記載する	アクセス詳細項目を登録することで、自動生成する。
参照	地物を説明する情報がある場合には、その参照先 url 等を記載する。	
画像	画像がある場合には、参照先 url 等を記載する。	
連絡先	地物に関する連絡先がある場合には、その内容を記載する	連絡先詳細項目を登録することで、自動生成する。
利用可能時間	施設の利用可能日、開始、終了時間	利用可能時間詳細項目を登録することで、自動生成する。
料金	施設の料金	料金詳細項目を登録することで、自動生成する。
収容人数	収容数	
駐車場	施設が利用する駐車場	
関連施設	上位施設、包含する施設等	

図 3 主なデータ項目

アプリケーションでは、図 3 のデータが利用者に見える。建物情報や避難所情報も付加可能である。

データベースでデータを管理する場合の IMI 対応は以下のとおりである。

ic:地物型						
	ic:ID					
		ic:体系				
			ic:名称			ID に名称がある場合に記載。
			ic:発行者			ID を発行する組織名を記載。
			ic:バージョン			ここで使用する ID のバージョンを記載。
			ic:URI			ID に URI がある場合に記載。
		ic:識別値				ID の実際の値を記載。この部分が一般には表示される。
	ic:名称					地物の正式名称を記載する。
	ic:通称					地物が通称を持つ場合に記載する。
	ic:地理識別子					緯度、経度、高度または深さ、座標参照系の順に区切り文字なしに記載。スラッシュ「/」で終わる。地点が、面や線などを表す場合には、代表地点を記載。
	ic:住所					
		ic:種別				「代表地点」等、住所項目に解説が必要な時に使用する。
		ic:表記				都道府県、市区町村、町名を連続して記載。その後、丁目、番地、号をハイフンで接続して半角で記載。
		ic:国				国名を記載。
		ic:国コード				国名コード（2文字）を記載。
		ic:都道府県				都道府県名を記載。「東京都」「神奈川県」のように、都道府県まで記載。
		ic:都道府県コード				全国地方公共団体コード（左2桁）を記載。
		ic:市区町村				市町村名、および、東京都の場合は特別区名を記載。郡は、「○○郡○○村」と記入。北海道で総合振興局の記載が必要な場合には、市町村名の前に記載。

	ic:市区町村コード				全国地方公共団体コード（右4桁）を記載。
	ic:区				政令指定都市の場合は、区を記載。
	ic:町名				町名、大字等、文字での住所記載部分を記載。
	ic:丁目				半角数字
	ic:番地補足				丁目以降の数字の前に、「東」「北」「浜」「甲」等の文字が付く場合には記載。
	ic:番地				半角数字。
	ic:号				半角数字。町名の後ろに数字が1つしかない場合はここに記載。
	ic:ビル名				ビルに、「新館」等の日本語補足があるときには、「〇〇ビル新館」の要に記入
	ic:ビル番号				半角英数字
	ic:部屋番号				半角数字
	ic:方書				ビル名、ビル番号、部屋番号を連続して記載。
	ic:ID				
	ic:住所コード				住所を表すために、第三者が提供する既存のコード体系を活用する場合に使用する。
		ic:コード種別			コードの体系を記載する。
			ic:名称		ID に名称がある場合に記載。
			ic:発行者		ID を発行する組織名を記載。
			ic:バージョン		ここで使用する ID のバージョンを記載。
			ic:URI		ID に URI がある場合に記載。
		ic:識別値			ID の実際の値を記載。この部分が一般には表示される。
	ic:郵便番号				郵便番号を半角、ハイフンなし、連番で記載。
ic:地理座標					
	ic:座標参照系				座標の参照系を記述する。

		ic:緯度				緯度を、-90から+90で記載。「+」「-」は必ず記載。 10進表示の場合は、小数点以下6桁まで記載。 度分秒表示の場合は、秒の小数点以下1桁まで記載。	
		ic:経度				経度を、-180から+180で記載。「+」「-」は必ず記載。 10進表示の場合は、小数点以下6桁まで記載。 度分秒表示の場合は、秒の小数点以下1桁まで記載。	
		ic:測地高度				メートル単位の整数で記載。	
	ic:要約					一覧などに載せる簡易な説明を 100文字以内で記載する。	
	ic:説明					地物に説明がある場合には記載する。	
	ic:アクセス						
		ic:種別				最寄地点からのアクセス手段。鉄道、バス、徒歩、など	
		ic:アクセス区間				アクセス方法の各区間の一覧	
			ic:種別			最寄地点（駅、バス停、インターチェンジ等）	
			ic:始点			最寄地点（駅、バス停、インターチェンジ等）	
			ic:始点備考			最寄地点までの交通手段など、最寄地点の捕捉説明となる情報。鉄道の場合、「事業会社路線名」で記載。複数路線があるときには「,」区切り	
			ic:時間			最寄地点からのアクセス時間	
		ic:地図				地図	
		ic:備考				その他の補足情報。	
	ic:参照					地物を説明する情報がある場合には、その参照先 url 等を記載。	

	ic:画像					画像がある場合には、参照先 url 等を記載。	
	ic:連絡先					地物に関する連絡先がある場合には、その内容を記載。	
		ic:種別				コールセンター等種別を使いたい場合に記載。	
		ic:名称				観光案内電話案内等、問い合わせ先の代表名称を記載。	
		ic:組織				連絡先を運営する組織名を記載。	
		ic:担当者役職					
		ic:担当者名					
		ic:Eメールアドレス					
		ic:住所					
		ic:送付先					
		ic:電話番号					
		ic:内線番号					
		ic:FAX番号					
		ic:携帯電話番号					
		ic:Webサイト					
		ic:ID					
		ic:対応言語					
	ic:設備					地物に設備が付帯する場合には記載。バス停、屋外消火器等で使用。	
ic:施設型							
	ic:種別						
	ic:種別コード						
	ic:利用可能時間						
		(ic:定期スケジュール型の場合)					
		ic:種別				スケジュールの種別。「週間」「月間」「年間」などを指定する	
		ic:開催期日				このスケジュールが有効となる日。「週間」スケジュールの場合は曜日	

					を指定し、「月間」スケジュールの場合は月の中の日を指定し、「年間」スケジュールの場合は年の中の月日を指定する	
		ic:有効開始日時			このスケジュールが有効になる日時。	
		ic:有効終了日時			このスケジュールが無効になる日時。	
		ic:開始時間			指定された曜日に場所やサービスが開始する時間。	
		ic:終了時間			指定された曜日に場所やサービスが終了する時間。	
		ic:説明			スケジュールの説明や例外などを記載。	
	ic:料金					
		ic:種別			料金の種別を記載。「大人」「団体割引(大人)」「一日」等。	
		ic:金額				
			ic:数値		価格を円単位、半角数字で記載。	
	ic:収容人数					
	施設出入口					
		出入口種類			「出入口」「入口」「出口」等の入口の種類を記載。	
		出入口名称			入口名称を記載。	
		出入口地点				
			ic:緯度			
			ic:経度			
		車いす可否			歩行者入口の場合、「可」「否」を記載。	
	ic:建物					
		ic:敷地面積			施設が持つ敷地面積を記載。	建築確認申請内容
		ic:主要用途			建物の主要用途を記載。	建築確認申請内容
		ic:建築面積			建物の一階部分の面積を記載。	建築確認申

							請内容
		ic:延べ面積				建物の延べ面積を記載。	建築確認申請内容
		ic:最高の高さ				建物の最高高さをmで記載。	建築確認申請内容
		ic:地上階数				建物の地上階数を記載。	建築確認申請内容
		ic:地下階数				建物の地下階数を記載。	建築確認申請内容
		ic:構造				建物の構造を記載。	建築確認申請内容
		ic:竣工日				建物の竣工日を記載。	建築確認申請内容
	ic:関連施設					建物に関連施設がある場合に記載。	
		ic:役割				主の施設に対する役割がある場合に記載。	
		ic:施設					
			施設地物				
				ic:名称			
				ic:通称			
				ic:地理識別子			
				ic:住所			
				ic:地理座標			
				ic:要約			
				ic:説明			
				ic:参照			
				ic:画像			
				ic:連絡先			
			ic:種別				
			ic:種別コード				
			ic:利用可能時間				
			ic:料金				
			ic:収容人数				

		ic:建物				
		ic:関連施設				
ic:駐車場					必要に応じて、料金や利用時間の項目と組み合わせて使用する。	
	ic:駐車場種別				「大型」「普通車」等	
	ic:収容台数					

図 4 詳細データ項目

英語名は IMI の命名規則（NDR）に従い、単語の頭文字を大文字にして英単語を接続している。

また、検索エンジンでの用語の標準化している Schema.org との関係も下表に整理する。利用した Schema.org の分類は、以下の通りである。

ic:地物型	Spot 英語名	Schema.org
ic:ID	Identification	
ic:名称	Name	Thing>name
ic:通称	AlternativeName	Thing>alternateName
ic:地理識別子	LocationIdentification	
ic:住所	Address	Thing>Place>address
ic:住所【表記】	FullAddressText	
ic:住所【郵便番号】	PostCode	
ic:地理座標	LocationGeographicCoordinate	Thing>Place>geo
ic:要約	Abstract	
ic:説明	Description	Thing>description
ic:アクセス	Access	
ic:アクセス【地図】	Map	Thing>Place>hasMap
ic:参照	Reference	
ic:画像	Picture	Thing>Place>photo
ic:連絡先	ContactInformation	
ic:連絡先【電話番号】	TelephoneNumber	Thing>Place>telephone
ic:連絡先【FAX番号】	FaxNumber	Thing>Place>faxNumber
ic:設備	ContainItem	
ic:施設型		
ic:種別	FacilityCategory	
ic:利用可能時間	ScheduleDay	Things>Place>openingHourSpecification
ic:料金	ItemValue	Things>Intangible>StructuredValue>priceSpecification
ic:収容人数	FacilityDistinctiveFeature	
施設出入口	FacilityEntrance	
ic:建物	FacilityBuilding	
ic:関連施設	RelatedFacility	Things>Place>containedIn
ic:駐車場	ParkingFacility	Thing>Place>CivicStructure>ParkingFacility

図 5 英語対応、schema.org 対応

3. IEP 活用の流れ

3. 1 新規システム構築の場合

データ設計において、本 IEP の活用を検討する。本 IEP に対応することで、インターフェースのカスタマイズを最小限に抑えることができる。

データベース内のデータを詳細項目で記録して、入出力においては利用者に合わせた形で構築する。こうすることで、高い相互運用性と使いやすいインターフェースを両立させること。

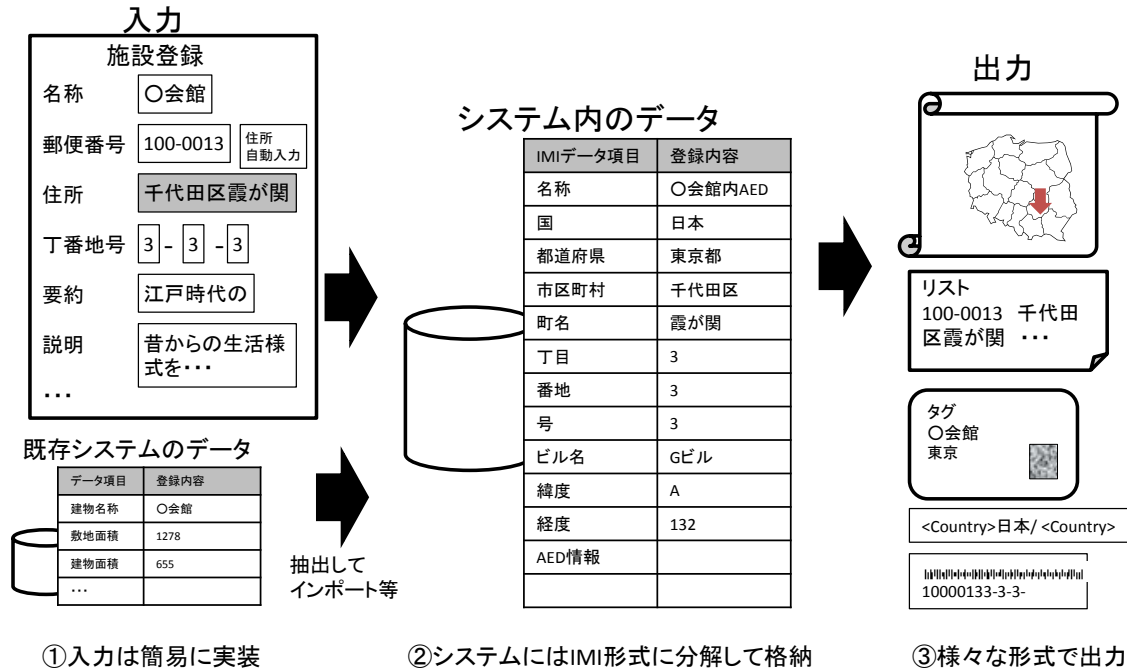


図 6 新規システムでの導入イメージ

(1) 手順 1 データ洗い出し

新システムに必要なデータ項目の洗い出しを行う。また、他システムで持っている、インポート可能なデータを洗い出す。単なる施設を表すのではなく、必要に応じて、「プール種類」等、施設の特性に応じた情報を追加する。また既存で持っている情報がある場合には、収集を行う。

(2) データ確認とサブセット作成

IMI のデータ項目を見て、過不足を検討する。そして、IMI のデータのうち使用する項目のサブセットを作成する。他システムでインポート可能なデータがある場合、そのデータの対応関係を整理する。

(3) データ実装方式の検討

画面やデータベースでのデータ実装方式を検討する。郵便番号や町字コードから住所を自動入力するなどの工夫を行う。また、他システムでインポート可能なデー

タがある場合、そのデータの変換方法等を整理する。

3. 2 既存システムの場合

他システムとの情報交換や情報公開のためにデータのインタフェース設計（API を含む）が必要な時に、本 IEP の活用を検討する。本 IEP を活用することで、2 回目以降の変換作業の負担を大幅に減らすことができる。

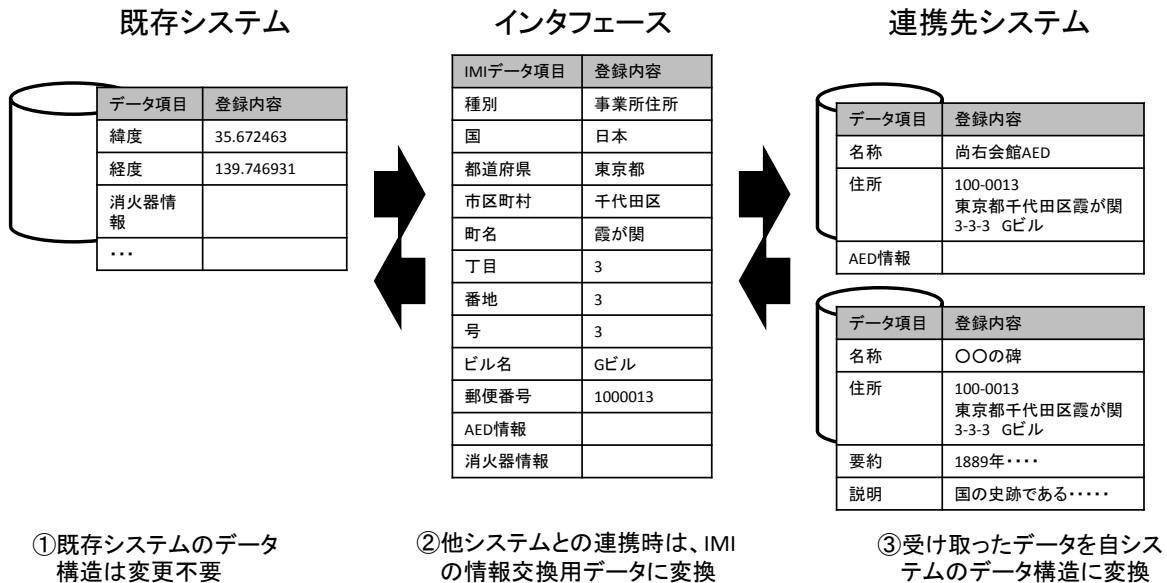


図 7 既存システムでの導入イメージ

(1) データ対応表の作成

自組織内で施設に関するデータベースを持っている時には、IMI のデータ項目に対して対応表を作成する。

(2) 情報交換用データセットに変換

自組織の情報と IMI の対応表、連携先のデータと IMI の対応表を見て、情報交換方式を検討する。双方ともに情報交換用データセットに変換して送受信を行えるように準備する。

(3) IMI 形式データの受信と自組織のデータ形式への変換

データ連携先には、IMI 形式でのデータ送信を依頼する。その上で、IMI 形式で受信したデータを、自組織のデータ形式に変換する。

4. コード等

4. 1 コード、データ

施設の表記には以下のコードが活用できる。

公共施設（区分コード、実体データ）

名称 : 公共施設大分類コード
 コード ID : PubFacMaiclassCd
 発行者 : 国土交通省 国土数値情報
 発行者 ID :
 バージョン :
 URI (URL) : http://www.iso.org/iso/country_codes.htm

名称 : 公共施設小分類コード
 コード ID : PubFacMiniclassCd
 発行者 : 国土交通省 国土数値情報
 発行者 ID :
 バージョン :
 URI (URL) : http://www.iso.org/iso/country_codes.htm

名称 : 国土数値情報 公共施設データ
 コード ID :
 発行者 : 国土交通省 国土数値情報
 発行者 ID :
 バージョン :
 URI (URL) : http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-P02-v4_0.html

市町村役場等及び公的集会施設（区分コード、実体データ）

名称 : 施設分類コード
 コード ID : CityPublicHallCd
 発行者 : 国土交通省 国土数値情報
 発行者 ID :
 バージョン :
 URI (URL) : <http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/codelist/PubOfficeCd.html>

名称 : 国土数値情報 市町村役場等及び公的集会施設データ
 コード ID :
 発行者 : 国土交通省 国土数値情報
 発行者 ID :
 バージョン :
 URI (URL) : <http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-P05.html>

警察署（区分コード、実体データ）

名称 : 種別コード

コード ID : PoliceStationCd
 発行者 : 国土交通省 国土数値情報
 発行者 ID :
 バージョン :
 URI (URL) : <http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/codelist/PoliceStationCd.html>

名称 : 国土数値情報 警察署データ
 コード ID :
 発行者 : 国土交通省 国土数値情報
 発行者 ID :
 バージョン :
 URI (URL) : <http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmpl-P18.html>

消防署 (区分コード、実体データ)

名称 : 種別コード
 コード ID :
 発行者 : 国土交通省 国土数値情報
 発行者 ID :
 バージョン :
 URI (URL) : <http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmpl-P17.html>
 コードリスト 消防本部=1、消防署=2、分署・出張所=3

名称 : 国土数値情報 消防署データ
 コード ID :
 発行者 : 国土交通省 国土数値情報
 発行者 ID :
 バージョン :
 URI (URL) : <http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmpl-P17.html>

医療機関 (病院、診療所、歯科、薬局)

名称 : 医療機関番号
 コード ID :
 発行者 : 厚生労働省
 発行者 ID :
 バージョン :
 URI (URL) : <http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmpl-P04.html>
 全国の厚生労働省厚生局で公開

福祉施設 (区分コード、実体データ)

名称 : 福祉施設細分類コード
 コード ID : WelfareFacMicclassCd
 発行者 : 国土交通省 国土数値情報
 発行者 ID :
 バージョン :
 URI (URL) : <http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/codelist/WelfareFacMicclassCd.html>

名称 : 国土数値情報 福祉施設データ
 コード ID :
 発行者 : 国土交通省 国土数値情報
 発行者 ID :
 バージョン :
 URI (URL) : <http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-P14.html>

文化施設 (区分コード、実体データ)

名称 : 文化施設分類コード
 コード ID : CultureFacCd
 発行者 : 国土交通省 国土数値情報
 発行者 ID :
 バージョン :
 URI (URL) : <http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/codelist/CultureFacCd.html>

名称 : 国土数値情報 文化施設データ
 コード ID :
 発行者 : 国土交通省 国土数値情報
 発行者 ID :
 バージョン :
 URI (URL) : <http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-P27.html>

学校 (区分コード、実体データ)

名称 : 学校分類コード
 コード ID : SchoolClassCd
 発行者 : 国土交通省 国土数値情報
 発行者 ID :
 バージョン :
 URI (URL) : <http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/codelist/SchoolClassCd.html>

名称 : 国土数値情報 学校データ
 コード ID :
 発行者 : 国土交通省 国土数値情報
 発行者 ID :
 バージョン :
 URI (URL) : <http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-P29.html>

上水道関連施設

名称 : 国土数値情報 上水道関連施設データ
 コード ID :
 発行者 : 国土交通省 国土数値情報
 発行者 ID :
 バージョン :
 URI (URL) : <http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-P21.html>

下水道関連施設

名称 : 国土数値情報 下水道関連施設データ
 コード ID :
 発行者 : 国土交通省 国土数値情報
 発行者 ID :
 バージョン :
 URI (URL) : <http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-P22.html>

廃棄物処理施設 (区分コード、実体データ)

名称 : 施設種別コード
 コード ID : FacilitiesClassificationCd
 発行者 : 国土交通省 国土数値情報
 発行者 ID :
 バージョン :
 URI (URL) : <http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/codelist/FacilitiesClassificationCd.html>

名称 : 国土数値情報 廃棄物処理施設データ
 コード ID :
 発行者 : 国土交通省 国土数値情報
 発行者 ID :
 バージョン :
 URI (URL) : <http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-P15.html>

発電施設

名称 : 国土数値情報 発電施設
 コード ID :
 発行者 : 国土交通省 国土数値情報
 発行者 ID :
 バージョン :
 URI (URL) : <http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-P03.html>

燃料給油所

名称 : 国土数値情報 燃料給油所データ
 コード ID :
 発行者 : 国土交通省 国土数値情報
 発行者 ID :
 バージョン :
 URI (URL) : <http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-P07.html>

研究機関

名称 : 国土数値情報 研究機関データ
 コード ID :
 発行者 : 国土交通省 国土数値情報
 発行者 ID :

バージョン :
 URI (URL) : <http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-P16.html>

地場産業関連施設

名称 : 国土数値情報 地場産業関連施設データ
 コードID :
 発行者 : 国土交通省 国土数値情報
 発行者ID :
 バージョン :
 URI (URL) : <http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-P24.html>

物流拠点 (区分コード)

名称 : 分類コード
 コードID : DistributionCd
 発行者 : 国土交通省 国土数値情報
 発行者ID :
 バージョン :
 URI (URL) : <http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/codelist/DistributionCd.html>

空港

名称 : 国土数値情報 空港データ
 コードID :
 発行者 : 国土交通省 国土数値情報
 発行者ID :
 バージョン :
 URI (URL) : http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-C28-v2_3.html

ヘリポート

名称 : 国土数値情報 ヘリポートデータ
 コードID :
 発行者 : 国土交通省 国土数値情報
 発行者ID :
 バージョン :
 URI (URL) : <http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-N11.html>

港湾

名称 : 国土数値情報 港湾データ
 コードID :
 発行者 : 国土交通省 国土数値情報
 発行者ID :
 バージョン :
 URI (URL) : <http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-C02.html>

漁港

名称 : 国土数値情報 漁港データ

コード ID :
 発行者 : 国土交通省 国土数値情報
 発行者 ID :
 バージョン :
 URI (URL) : <http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-C09.html>

避難所 (コードではなく一覧)

名称 : 避難施設
 コード ID :
 発行者 : 国土交通省 国土数値情報
 発行者 ID :
 バージョン :
 URI (URL) : <http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-P20.html>

4. 2 地図記号、ピクトグラム

施設を表現するのに、地図記号やピクトグラムを使用する場合がある。以下のピクトグラムが活用できる。

地図記号

名称 : 地図記号
 コード ID :
 発行者 : 国土地理院
 発行者 ID :
 バージョン : 平成 14 年図式
 URI (URL) : <http://www.gsi.go.jp/KIDS/map-sign-tizukigou-h14kigou-itiran.htm>

案内記号

名称 : 標準案内用図記号
 コード ID : JIS Z 8210
 発行者 : 日本規格協会
 発行者 ID :
 バージョン : 2002
 URI (URL) : <http://www.jsa.or.jp/default.asp>

4. 3 グローバル対応

海外からの訪問者や滞在者が増えていることから、多言語での対応も求められている。観光庁では「観光立国実現に向けた多言語対応の改善・強化のためのガイドライン」において、英語、中国語（簡体字）、韓国語に対応した対訳後一覧を提供している。語彙の活用において、本対訳を活用されたい。

5. 施設拡張

5. 1 子育施設

子育施設の場合には、以下の情報を付加する。

データ項目	データ項目	説明
種別		施設種別を記入する。幼稚園、保育園、認定こども園等
利用可能日齢		利用可能な最小日齢を記入する。
定員・実員		
	区分	年齢区分
	年齢定員	年齢区分別の定員を記入する。例:1才:5名
	子供数	年齢区分別の現在の子供数
	待機数	年齢区分別の現在の待機数を記入する。
	待機可否	待機の可否を記入する。
職員数		職員数を記入する。
保育スペース		
	敷地面積	
	建物面積	
	延べ面積	
料金		
	種別	入学金、月額費用等の種別を記入する
	金額	金額を円単位で記入する
給食		給食の条件等を記入する。
利用時間		
	種別	「月」「月-金」等を記入する。
	定期スケジュールの開始時間	預かり開始時間を記入する。
	定期スケジュールの終了時間	預かり終了時間を記入する。
	定期スケジュールの説明	年末休み等の特記事項を記入する。
延長保育		延長の条件を記入する。
	種別	「月」「月-金」等を記入する。
	定期スケジュールの開始時間	預かり開始時間を記入する。
	定期スケジュールの終了時間	預かり終了時間を記入する。
	定期スケジュールの説明	年末休み等の特記事項を記入する。
夜間保育		夜間保育の条件を記入する。
	種別	「月」「月-金」等を記入する。
	定期スケジュールの開始時間	預かり開始時間を記入する。
	定期スケジュールの終了時間	預かり終了時間を記入する。
	定期スケジュール	年末休み等の特記事項を記入する。

	の説明	
一時預かり		一時預かりの条件を記入する。
	種別	「月」「月-金」等を記入する。
	定期スケジュールの開始時間	預かり開始時間を記入する。
	定期スケジュールの終了時間	預かり終了時間を記入する。
	定期スケジュールの説明	年末休み等の特記事項を記入する。
送迎		送迎の有無を記入する。
関連保育施設		0歳児室、調理室、屋外遊技場等の保有設備を記入する。

図 8 施設（子育て施設） 利用時データ項目

5. 2 高齢者支援施設

高齢者支援施設の場合には、以下の情報を付加する。

データ項目	データ項目	説明
種別		施設種別を記入する。特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、療養型病床群、ケアハウス、グループホーム、老人ホーム等
利用可能サービス		デイケア、ショートステイ、入浴サービス等の提供サービスを記入する。
利用可能年齢		利用可能な年齢を記入する。
利用条件		利用者の条件を記入する。
居室の設備		居室の設備を記入する
関連施設		一時介護室、リハビリテーションルーム、医務室、談話室、相談室、ゲストルーム、食道、売店、浴場、介護用浴室、マッサージコーナー、茶室、多目的スペース、庭園等の関連施設を記入する。
定員・実員		定員と実数と待機状況を記入する。
	区分	全体、自立、支援1支援2、介護1、介護2、介護3、介護4、介護5
	区分定員	区分別の定員を記入する。
	入所者数	区分別の現在の入所者数
	待機数	区分別の現在の待機数を記入する。
	待機可否	待機の可否を記入する。
職員数		職員数を記入する。
施設スペース		施設のスペースを記入する。
	敷地面積	
	建物面積	
	延べ面積	
料金		
	種別	入居費、月額費用等の種別を記入する
	金額	金額を円単位で記入する
医療		医療サービスがある場合はその内容を記入する。

機能訓練		機能訓練がある場合はその内容を記入する。
給食		給食の条件等を記入する。
利用時間		ショートステイやデイケアの利用時間を記入する。
	種別	「月」「月-金」等を記入する。
	定期スケジュールの開始時間	預かり開始時間を記入する。
	定期スケジュールの終了時間	預かり終了時間を記入する。
	定期スケジュールの説明	年末休み等の特記事項を記入する。
送迎		送迎の有無を記入する。
関連保育施設		0歳児室、調理室、屋外遊技場等の保有設備を記入する。

図 9 施設（高齢者支援施設） 利用時データ項目

6. サンプル

サンプル1

データ項目名	説明	サンプル
名称	地点の正式名称を記載する。	海の公園
住所表記	都道府県、市区町村、町名を連続して記載。その後、丁目、番地、号をハイフンで接続して半角で記載。	神奈川県横浜市金沢区海の公園 10 (都道府県+市区町村+町名+丁目+番地+号+方書で合成)
地理座標	緯度経度を記載。	+35.342568+139.638022/ (緯度+経度で合成)
要約	一覧などに載せる簡易な説明を 100 文字以内で記載する。	金沢区のほぼ南端にある 1 キロメートルに及ぶ白砂青松の公園
説明	地点に説明がある場合には記載する。	この公園は三つの異なる地域からできています。.....
アクセス	地点までのアクセス経路を記載する	シーサイドライン「海の公園南口」徒歩 2 分 シーサイドライン「海の公園柴口」徒歩 2 分 シーサイドライン「八景島」徒歩 2 分 横浜横須賀道路「並木 IC」 「国道 357 号線」2.5km 首都高速湾岸線「幸浦 IC」 「国道 357 号線」2.0km (路線+最寄地点+アクセス方法+アクセス時間で合成)
入口		出入口 13 (海の公園南口) +35.337131+139.632186/ 出入口 2 (海の公園柴口) +35.341962+139.635705/ 出入口 2 (八景島) +35.340842+139.640739/ 駐車場出入口 +35.343065+139.638267/ (出入口名+緯度+経度で合成)
参照	地点を説明する情報がある場合には、その参照先 url 等を記載する。	http://www2.umino-kouen.net/
画像	画像がある場合には、参照先 url 等を	Umi-no-koen.gif

	記載する。	
連絡先	地点に関する連絡先がある場合には、その内容を記載する	公益財団法人横浜市緑の協会 海の公園 電話：045-701-3450 (連絡先名称＋電話で合成)
利用可能時間	施設の利用可能日、開始、終了時間	24h (開始時間＋終了時間で変換)
料金	施設の料金	
駐車場	施設が利用する駐車場の収容台数	1688
関連施設	上位施設、包含する施設等	
関連施設 名称	地点の正式名称を記載する。	バーベキュー場
関連施設 地理座標	緯度経度を記載。	+35.334980+139.634646/ (緯度＋経度で合成)
関連施設 要約	一覧などに載せる簡易な説明を 100 文字以内で記載する。	公園内にあるバーベキュー施設
関連施設 説明	地点に説明がある場合には記載する。	海、砂、緑の木々に囲まれた自然豊かな環境の中で、家族や友人と楽しいアウトドアクッキングをしてみませんか。
関連施設 参照	地点を説明する情報がある場合には、その参照先 url 等を記載する。	http://www2.umino-kouen.net/facilities/barbecue/
関連施設 画像	画像がある場合には、参照先 url 等を記載する。	Umi-no-koen-BBQ.gif
関連施設 連絡先	地点に関する連絡先がある場合には、その内容を記載する	公益財団法人横浜市緑の協会 海の公園 電話：045-701-3450 (連絡先名称＋電話で合成)
関連施設 利用可能時間	施設の利用可能日、開始、終了時間	昼の部 10:30～14:30 夕方の部 15:00～19:00 (種別＋開始時間＋終了時間で合成)
関連施設 料金	施設の料金	平日の利用 1 テーブル当り(税込み) 2,000 円 土日祝日の利用 1 テーブル当り(税込み) 2,500 円 (種別と料金で合成)

図 10 サンプル